

相模の山に我村見所ありた俳句人ら
も仰ち之を疑ふを承りて居たう其甚だ不本之
つるりてすか其一日下まゝ研究論文の爲
せり他に時間を割く暇が無く一切の事務
を仰ことわりして居ますやう不次第
しかりし仰承下さいいづれ右論文執筆
が終へたりたり十二月月中旬頃までいか
いさし候かまかせて下さるやうその際又
あらためて仰申さるかせ願ひます
右より
あへて仰あいまで

丁巳年十月

〇

京上素大信軍西所三六 報小思一札